



アルプス中央信用金庫

上半期ディスクロージャー

ALPS CHUOH SHINKIN BANK REPORT **2022.9**

紅葉の山間を抜ける中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイ



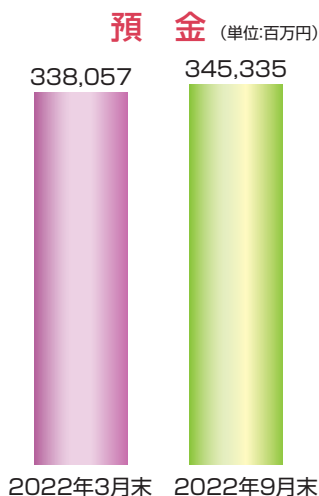
2022年度上半期業績ハイライト

※上半期における財務計数値の記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。
 ※パーセントについては小数点第3位以下を切り捨てて表記しております。

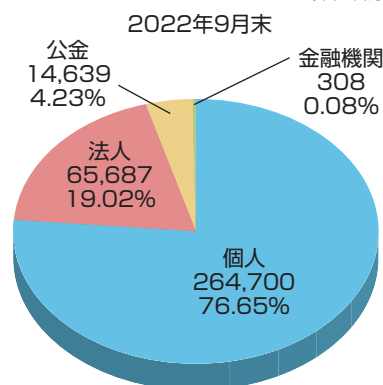
預金・貸出金残高の状況

* 預金残高 3,453億円

残高は2022年3月末比72億円(増加率2.15%)、2021年9月末比6億円(増加率0.19%)増加し、3,453億円となりました。2022年3月末比の内訳では、定期性預金は37億円減少しましたが、普通預金を中心とした流動性が108億円増加しました。また、預金者別では、個人のお客様の預金が13億円、法人の預金が59億円それぞれ増加しました。

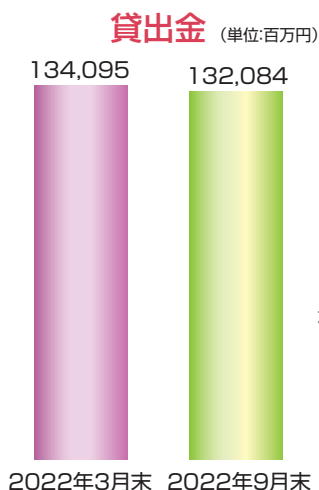


預金者別内訳 (単位:百万円)

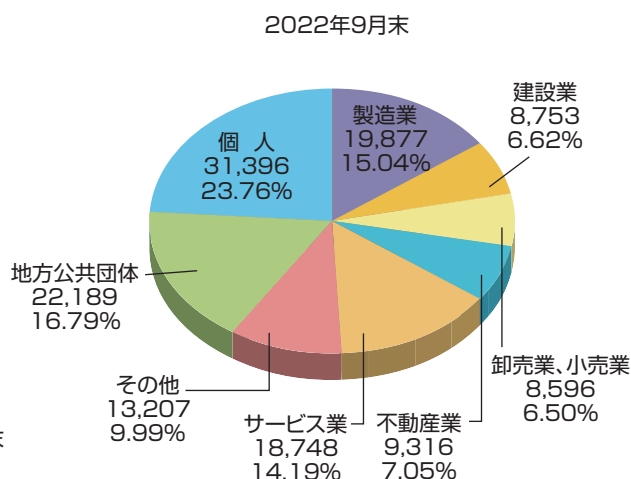


* 貸出金残高 1,320億円

新型コロナウイルス感染関連の資金繰り支援が一巡し、事業者向け貸出金は本年度に入り減少しましたが、個人向け貸出金は、ローンセンターの機能を充実した結果2022年3月末比1億66百万円(増加率0.40%)増加し、2021年9月末比7億20百万円(増加率1.76%)増加となりました。住宅ローンは2022年3月末比1億72百万円(増加率0.73%)増加となりました。



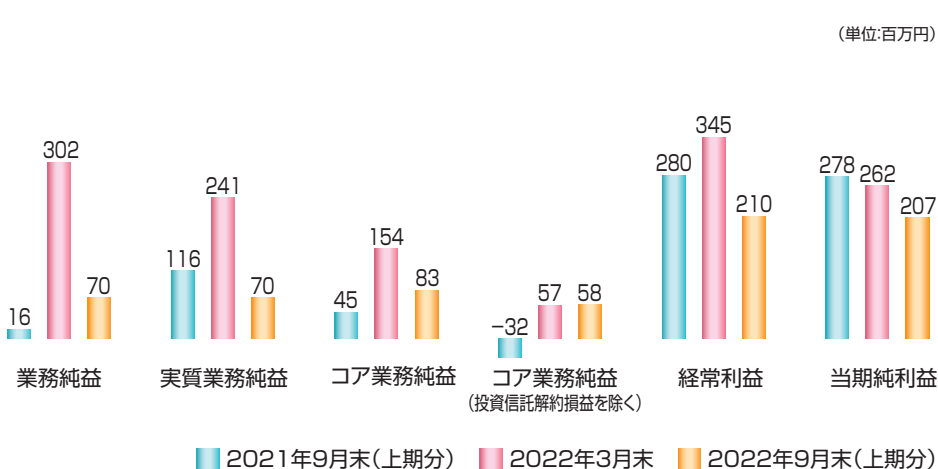
業種別内訳 (単位:百万円)



損益等の状況

* 当期純利益 2億7百万円

日本銀行による金融緩和策長期化の影響で利回りが低下し、資金運用収益が減少しましたが、経費削減に努めた結果、コア業務純益は83.51%増加(前年同月比)の83百万円を計上することができました。一方、債券価格が下落した影響で国債等債券売却益が減少したことなどを受け、経常利益は25.20%減少の2億10百万円、当期純利益は25.45%減少の2億7百万円となりました。



業務純益…金融機関の基本的な業務に係る利益を示すものであり、いわゆる本業による利益です。
 実質業務純益…業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
 コア業務純益…実質業務純益から国債等償還損益(国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益)を差し引いたものです。
 経常利益…業務純益を含む業務内、業務外の通常発生する収益から、その収益を得るために発生する費用を差し引いたものです。
 当期純利益…経常利益に突発的な収益や費用(特別利益・特別損失)を加減し、法人税等を控除したものです。

有価証券の状況

* 有価証券残高 998億円

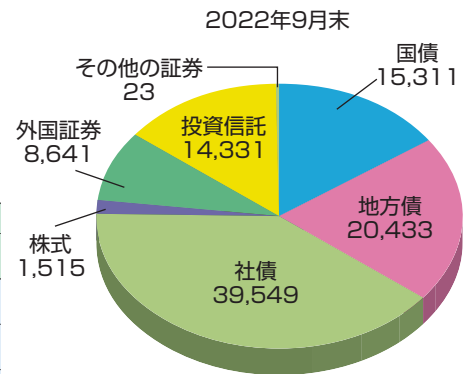
みなさまからお預かりした大切なご預金は、ご融資のほかに国債・地方債・社債等を中心とした有価証券で運用をしております。

安全性や流動性に留意した運用に努めておりますが、昨今の国内外の金利急上昇に伴い債券価格が下落した影響で、有価証券の評価損は2022年3月末比35億66百万円増加の54億80百万円となりました。

(単位:百万円)

	2022年3月末			2022年9月末		
	簿価	時価	差額	簿価	時価	差額
その他有価証券	98,422	96,540	△1,882	101,549	96,160	△5,388
株式	1,366	1,535	169	1,408	1,495	87
債券	74,319	73,595	△724	76,391	74,466	△1,924
その他	22,736	21,409	△1,327	23,749	20,197	△3,551
満期保有目的の債券	2,640	2,608	△31	3,626	3,534	△92
子会社・関連会社株式	20	20	0	20	20	0

有価証券種類別残高 (単位:百万円)



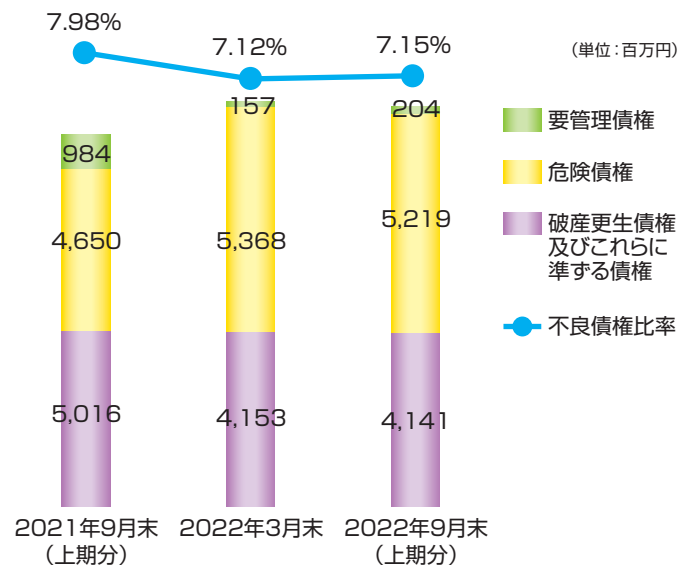
(注) 1.2022年9月末の「差額」は、2022年9月末時点の帳簿価格(償却原価法適用後)と時価の差額を計上しております。
2.左記「その他」は、投資信託・外国証券及びその他の証券です。

金融再生法開示債権の状況

* 不良債権比率 7.15%

金融再生法に基づく不良債権(開示債権)額は、2022年3月末比1億15百万円減少の95億65百万円となりました。一方、貸出金残高が減少したことから、不良債権比率は0.03ポイント上昇し7.15%となりました。担保・保証等による回収見込み額及び貸倒引当金の合計による保全率は94.33%となっており、不良債権への対応には万全を期しております。

- ・金融再生法開示債権は、貸出金のほかに債務保証見返り、未収利息などを含みます。
- ・「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- ・「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- ・「要管理債権」とは、「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。



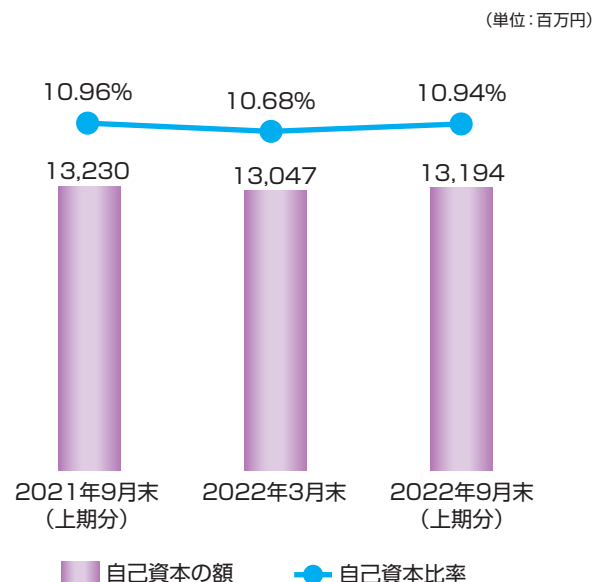
自己資本の状況

* 自己資本比率 10.94%

2022年3月末比で、自己資本の額が1億46百万円増加し、リスクアセット等の額が15億82百万円減少したことから、自己資本比率は0.26%改善し10.94%となりました。引き続き、国内基準(4%以上)を上回っており、経営の健全性・安全性を十分に維持しております。

(単位:百万円)

	2022年3月末	2022年9月末
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	13,334	13,492
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	286	298
自己資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	13,047	13,194
信用リスク・アセットの額の合計額	115,743	114,161
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	6,390	6,390
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	122,134	120,552
自己資本比率((ハ)/(ニ))	10.68%	10.94%



店舗のご案内 (2022年11月1日現在)

本店	営業部	伊那市荒井3438番地1	(0265) 72-4171
赤穂	営業部	駒ヶ根市北町8番14号	(0265) 82-3151
宮田	支店	宮田村3320番地3	(0265) 85-3300
飯島	支店	飯島町飯島1445番地1	(0265) 86-3147
上片桐	支店	松川町上片桐3647番地	(0265) 37-2121
赤穂東	支店	駒ヶ根市東町8番10号	(0265) 82-6131
福岡	支店	駒ヶ根市赤穂10790番地8(南支店内)	(0265) 82-3141
◎中川	支店	中川村片桐4080番地1	(0265) 88-3333
南	支店	駒ヶ根市赤穂10790番地8	(0265) 82-5507
◎アルプス	支店	駒ヶ根市赤穂1293番地2	(0265) 81-1311
伊那北	支店	伊那市山寺3174番地7	(0265) 72-3118
辰野	支店	辰野町大字辰野1636番地9	(0266) 41-0005
箕輪	支店	箕輪町大字中箕輪9489番地1	(0265) 79-2205
◎高遠	支店	伊那市高遠町西高遠1660番地1	(0265) 94-2133
宮木	支店	辰野町大字辰野1636番地9(辰野支店内)	(0266) 41-3481
春近	支店	伊那市荒井3438番地1(本店営業部内)	(0265) 78-6969
竜東	支店	伊那市中央4697番地1	(0265) 73-3172
南箕輪	支店	南箕輪村3115番地1	(0265) 76-1011
信大前	支店	南箕輪村8304番地72	(0265) 76-5551
いほく	支店	箕輪町大字中箕輪9489番地1(箕輪支店内)	(0265) 79-1300
あるしんローンセンター		伊那市荒井3438番地1(本店営業部内)	(0265) 98-8077

◎印の店舗では11:30~12:30の間、休業させていただいております。

【あるしん・SDGs宣言】



「長野県SDGs推進企業登録制度」の
第2期登録企業です。

《上伊那地域子ども応援プラットフォーム様へ》

- ▶ 「寄付型あるしん地域応援定期預金・絆」
⇒ 寄付金贈呈。
- ▶ 「あるしんフードドライブ」の実施
⇒ 当金庫役職員から食料品を募集し寄贈。



あるしんの概要 (2022年9月30日現在)

本店住所	長野県伊那市荒井3438番地1
電話番号	0265-76-4533
会員数	24,986名
出資金	10億16百万円
預金	3,453億35百万円
貸出金	1,320億84百万円
店舗数	20店舗
常勤役員数	248名



アルプス中央信用金庫

ホームページ <https://www.shinkin.co.jp/alshin/>